

観音寺中学校 道徳通信 2月号

立春が過ぎ、暦の上では春を迎えました。本年度は残すところ一ヶ月半ほどとなり、一年間の締めくくりの時期ですね。

さて、今月は、「集団の一員として、よりよくあるために大切なことは、何だろう」というテーマについて考えた、2年生の授業をご紹介します。

テニス部の危機【学校生活、集団生活の充実】

同じ中学校のテニス部の白石さんと木戸さん。部長の白石さんは「地区大会団体優勝」という目標を提案し、厳しい練習を進めた。しかし、木戸さんや何人かの部員は、友達と楽しくテニスをするのが部活の目的だったので、練習が楽しくなくなる。ある日、白石さんの叱責に木戸さん達は反発し、テニスコートを出て行ってしまう…。



○ 授業を通しての感想（生徒記述より）

<p>みんなの意見をしっかり聞くことが大切。キャプテンだからといって自分一人で決めても、みんなが納得しなかったらいいことは一つもない。チームのみんなは、自分の意見を言うことも大切だと思った。</p>	<p>自分の意見をしっかり伝えて、それでも変わらなかったら、相手に合わせることも大切だと思った。集団の気持ちをすぐに変えるのは難しい。集団では、意見の交換が大切だと思った。</p>
<p>個人競技だとあまり周りの人と意見を共有することが少ないけど、団体競技はチームのメンバーとの関わりが大切だと思うから、コミュニケーションをとって理解し合うことを大事にしていきたい。</p>	<p>全員の思い通りになる解決案を出すのは難しいと思うけど、それぞれの思いを組み合わせ、少しでも納得のいく結果にするために、上手くみんなに寄り添えるようになるといいなと思った。</p>
<p>一人一人思っていることは違うから、意見を聞いて誰かが納得できるような策を考えるのが大切だと思った。全部他の人に任せっきりにしないで、自分も関係しているんだから行動するべきと考える。</p>	<p>自分も部長なので、他の人の意見は取り入れるべきだと改めて思った。どうしても人がたくさんいると、意見が分かれてしまうことがあるので、相手も自分も意見を言えるようにしたい。</p>
<p>全体にとって居心地の良い空間にするために、許したり時には妥協したりして、集団の一員として活動することが大事。自分の意見をはっきりと伝え、更に相手の意見も聞いて、みんなが納得できるルールや方法を見つけることも大切だと思った。</p>	<p>一人だけが一方的に自分の意見を主張するんじゃなくて、みんなの意見を話し合い、取り入れることで集団はよりよく活動できると思った。それに、大切なことは自分の意見も言うことだと思った。不満があるまま活動していても成長しないから。</p>

道德通信 1月号の返信より

- 偏見や決めつけは良くないです。ルールを守る！知らなければ教える！教えてもらう！世の中の人達がみんな心にゆとりを持って欲しいですね。
- 互いの相違点を受け入れ認め合う心の広さ、豊かさが必要だと思いました。偏見やステレオタイプな考えを捨て、相手を思いやる気持ちを常に持ち続けられる大人に成長してほしいです。
- 私も会社で人権研修を受けており、外国人に対して『お箸の使い方が上手だね』とか、女子社員が出張行くのに『家庭もあるのに大変ね』と無意識に外国人は箸を使うのが下手、女性が家事や子育てをしているのが当然、という前提で話す事により気分を害してるかもしれないと教わりました。逆の立場を経験して分かる事もありますが、言われないと分からない事もあるので、そういうコミュニケーションをしっかりとっての言動、行動をとって欲しいです。
- 自分が普通だと思っていることが、もしかしたら他の人は違うかもという考えを知っておくことが大切だと思いました。中学生の時期に色々な考え方を知ることができて良いと思います。

ご返信、ありがとうございました♪

ご感想やご意見がございましたら、LEBER（リーバー）のアンケート「返信欄」にてお気軽にご回答ください。たくさんのご返信をお待ちしております。